

JSS S-FJ Scholarship



JSS S-FJ スカラシップドライバー三宅淳詞選手の参戦レポート
FIA-F4 選手権 Rd3 Rd4 富士スピードウェイ
2019年5月3~4日 参加台数 36台

予選 第3戦 9位 第4戦 10位 天候:晴れ 路面:ドライ

8時5分から30分間の公式予選が行われた。先頭でコースイン出来ることもありセッションの前半は単独でタイムアタックを行う。1コーナーでスピンした停止車両がありイエローフラッグとなったので、一旦クールダウンを入れ、スリップスリップを使うべくアタックを再開。そしてスリップストリームを使い自己ベストを更新した。ただ、前日のトレーニングで自己の欠点は把握しており、克服すべく努力したものの、タイムは伸び悩み1分46秒300で1戦目は9位スタート、セカンドベストは1分46秒469で2戦目は10位スタートとなった。

第3戦 予選結果

Position	Car No	Driver	Entry Name	Time
1	7	佐藤 蓮	SRS/コチラレーシング	1'45.949
2	24	平木 玲次	Media DoADVICS 影山 F110	1'45.979
3	6	太田 格之進	SRS/コチラレーシング	1'46.057
9	5	三宅 淳詞	HFDP/SRS/コチラレーシング JSS	1'46.300

第4戦 予選結果

Position	Car No	Driver	Entry Name	Time
1	7	佐藤 蓮	SRS/コチラレーシング	1'45.961
2	24	平木 玲次	Media DoADVICS 影山 F110	1'46.073
3	39	岡本 大地	SUCCESS RACING F4	1'46.258
10	5	三宅 淳詞	HFDP/SRS/コチラレーシング JSS	1'46.469

第3戦 決勝レース 順位:11位 天候:晴れ 路面:ドライ

午後1時25分、快晴の空のもと15週の第3戦目のスタートとなった。アクシデントに巻き込まれやすい位置からのスタートなので、まずは接触をしないことを心掛ける。2番手スタートのドライバーがクラッチトラブルによりスタートで出遅れたこともあり1コーナーを1ポジションアップの8位で通過。しかし、Aコーナーの混乱で1台に抜かれオープニングラップは10位で通過する。そこから集団になるが、抜くことがむづかしく、またバトルが激しくなったことによりペースが伸びない。そしてレース終盤には後方の選手に追いつかれてしまう、最終ラップのBコーナーではブレーキロックさせてしまいピタリとつかれる。最終コーナーまでは抑えたもののスリップストリームで抜かれて11位でチェッカーを受けた。

Position	Car No	Driver	Entry Name	Total Time
1	7	佐藤 蓮	SRS/コチラレーシング	26'44.836
2	6	太田 格之進	SRS/コチラレーシング	26'45.202
3	39	岡本 大地	SACCESS RACING F4	26'48.993
11	5	三宅 淳詞	HFDP/SRS/コチラレーシング JSS	26'58.045

第4戦 決勝レース 順位:10位 天候:晴れ 路面:ドライ

第4戦目も快晴で午前8時40分から15周で行われた。前日のクラッシュの影響で9番スタートの選手がリタイヤ届けを提出したことにより繰り上げで9位スタートとなる。今回もスタートはうまく決まり混乱も避けて8位で第3セクターに入るが、スタートで発生したアクシデントの処理を行うためにセーフティカーが導入。開幕戦のセーフティカーでうまくタイヤを温められず再スタート後ペースが伸び悩んだので今回はヒーティングを心掛ける。クラッシュ処理は4周目までかかり5周目から再スタート。やはり集団になり激しいバトル争いになる。前方のマシンはペースが悪く7周目のGR スーブラコーナーでインに飛び込む。順位を上げることは出来たのだが、相手を押し出してしまったのでホームストレートで順位を譲る形になる。タイム的には劣っていないので集団について行くものの、第3セクターのタイムが良なくて、なかなか抜くことが出来ず順位を落としてしまい結果的に10位でチェッカーを受けた。

Position	Car No	Driver	Entry Name	Total Time
1	7	佐藤 蓮	SRS/コチラレーシング	31'26.892
2	24	平木 玲次	Media DoADVICS 影山 F110	31'33.281
3	63	川合 孝汰	DENSO ルポーセ IPG F4	31'33.834
10	5	三宅 淳詞	HFDP/SRS/コチラレーシング JSS	31'38.156

